

ANNUAL REPORT

2024



若者の力を活かして、
地域の課題解決
活性化を加速させるー

Tochigi
Youth
Supporters
Network*

認定 NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク
〒320-0862 栃木県宇都宮市西原 1-3-4 áret 1F
<https://www.tochigi-ysn.net>



ついでに

NPO 法人 とちぎユースサポーターズネットワーク とは？

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークは、栃木県をフィールドに活動する団体です。地域の先輩たちから脈々と受け継いできた私たちの暮らす地域では、様々な問題が表出し、多くの課題が生まれています。私たちの社会が生み出した課題は私たち自身が解決できると信じ、2008年の団体立ち上げ当初から「人を育み、地域をつくる」ことを事業の核とし、様々な人々と一緒に挑戦しています。



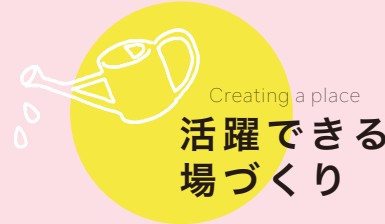
若い人材がチャレンジできる生態系を育み、
ひとや地域とのつながりをつくる
地域コーディネーターとして活動します



Encounter on site

現場での
出会い

若者が社会を創る実践者や地域課題と出会える場づくり



Creating a place

活躍できる
場づくり

若者が力を発揮でき、主体的に関われるフィールドの創出



Support the challenge

挑戦の応援

挑戦を支え合うソーシャルキャピタルの創出

MISSION

若者の力を活かして、
地域の課題解決 / 活性化を加速させる

OUR MAP

これまで核として取り組んできた、若者による社会を良くするスタートアッププログラム「iDEA▶NEXT」や実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」などを通して育んだプレイヤーたちとともに、栃木県全体の課題解決を加速させています。

※掲載団体は、主に iDEA▶NEXT のファイナリストで、実際に活動を行った方々を中心に掲載しています

※団体 / 会社名、もしくはプロジェクト名となっています

日光市

○せりざわ村みんなのキャンプ場（内山 裕介 2021）

塩谷町

○「くらしおや」プロジェクト（小松原 啓加 2024）

那須塩原市

- Roots4（小林 岳 2023）
- 未来のい〜ばしょ（大鹿 哲太 2022）
- みんなの蔵 TEO（君島 奈々 2021）
- 高校生コミュニティ Your Dream（小林 龍威 2018）

さくら市

- 褒め褒めフットサル（齊藤弘美 2020）
- まんまとちぎ（NPO 法人ポン・テ）（大河原 千晶 2018）
- キッズクレド（田中 崇子 2014）

市貝町

○Project SSB（長野 大輔 2014）

益子町

○ゲストハウス小窓（増田 リサ 2024）

大田原市

- 一般社団法人えんがお（濱野 将行 2017）
- 農と共に（阿久津 清尚 2019）

那須烏山市

- ユース 2000（なすから暮らし復興支援センター 2019）
- NPO 法人クロスアクション（渡邊 貴也 2014）

高根沢町

- maiMachi（河合 明子 2016）
- 高根沢に新しい風を吹き込む「場」を生みだす（佐々木 将志 2019）

鹿沼市

- 山鳥舎（鈴木 由清 2024）
- 一般社団法人コブル（中尾 真人 2016）
- 合同会社 Crew（伊川 夢起 2014）

栃木市

○デモクラティックスクール・つながるひろば（宇賀神 雄太 2015）

下野市

○もしもプロジェクト（浅野 暖斗 2023）

上三川町

- 上三川わくわく women's プロジェクト（花井 沙野佳 2022）
- 上三川のいえ（菊地 敦子 2017）

宇都宮市

- 夢活プロジェクト（小林 正幸 2024）
- 株式会社 De-Tied UP（山口 裕也 2024）



80組もの
挑戦者を輩出

宇都宮市

- 宇都宮大学障がい児支援サークル NOBA（高橋 剛志 2023）
- 学生団体子ども科学ラボ（斎藤 すみれ 2023）
- あしたまた（白金 励大 2022）
- 組めば愉快だ宇都宮（高橋 賢司 2022）
- 学生団体 DIVE-IN（菊地 卓良 2022）
- RIOT（平井 達朗 2022）
- YUSEKKAI PROJECT（小川 紗理奈 2021）
- 同窓会バーベキュー（吉田 圭吾 2021）
- マツカフェ（松井 藍子 2020）
- TOCHIGI MOVIE（川崎 みさ旗 2019）
- 社会問題を解決するカフェ Diva（ダー 春花 サラ 2019）
- Satokko（毛利 颯汰 2019）
- 株式会社アグクル（小泉 泰英 2018）
- 新聞ちぎり絵サークル（館野 智子 2018）
- 学生プレゼンコンテスト（高橋 利久 2018）
- Tochigi unique wedding（山口 絵美 2017）
- Ballon HEROS（斎藤 宏 2017）
- 精神障がい者の食生活支援（間庭 昭雄 2017）
- 宇大生シェア化計画（代表 飯ヶ浜 綾乃 他 2 名 2017）
- スタディカフェ（木津 英美里 2017）
- NPO 法人キーデザイン（土橋 優平 2015）
- トチギええじゃないか（栗野 倫也 2016）
- ガーデンヘルプかぐみえん（小林 かぐみ 2016）
- ことのは教室（内藤 さつき 2015）
- レクスタ（加藤 裕貴 2015）
- ユース 500（かぬま市民生活復興センター 2015）
- 宇都宮カクテル college（大館 仁志・新妻 星也 2013）（敬称略）



とちぎの
新しい物語は、
ここからはじまる。

社会をよくするアイデアを形にするプログラム『iDEA→NEXT』。このプログラムは、「地域の課題を解決して社会をもっとよくしたい」「私たちの住むまちをもっと面白くしたい」という想いをを持った若者のアイデアを形にする伴走支援プログラムです。地域活性化に必要な考え方や理念と、プロジェクト立ち上げに求められるノウハウを研修を通して学び、参加者が持つアイデアを各分野の専門家・スタッフ、ときにプログラム参加者同士で練り上げていきます。2024年度は5組の若者がプログラムに参加し、プロジェクトの企画書作り合宿にはじまり、実行に向けた準備やテスト実施といった挑戦を行い、ファイナルプレゼンテーションで発表を行いました。本プログラムは、若者の挑戦を支える趣旨に賛同し、応援してくださる皆様からの寄付によって運営していることも特徴の一つです。今年度も皆様からいただいた寄付金を、挑戦者の活動の原資として活用できる活動支援金の提供や最終報告会の会場費などに活用させていただきました。

2024年度 プログラムスケジュール



- 11/2 (土)～11/3 (日) **アイデアづくり合宿**
《内部研修》
「ソーシャルビジネス基礎講義」
「プロジェクトの核となる ビジョン 策定と事業計画づくりのはじめ方」
「課題の本質を正しく掴む社会調査とアイデアのつくりかた」
- 11/13 (水) **研修**
「共感の力で社会を動かすプロジェクトのつくりかた」
- 12/14 (水) **研修**
「プレゼンテーション基礎講座」
- 2025/2/15 (土) **ファイナルプレゼンテーション**
- 2/19 (水) **アフターミーティング**

後援

浄土宗 光琳寺

ファイナルプレゼンテーション コメンテーター

有限会社ドンカメ 代表取締役 小久保 行雄 氏
株式会社ワークエントリー 宇都宮営業所 所長 / 株式会社 itsuka 代表取締役 野崎 千晶 氏
ビジョナリーサポート 代表 山下 典江 氏

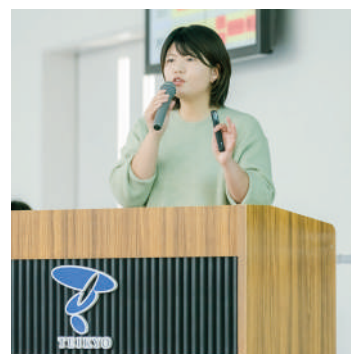
※2025年2月時点のアイデアです



Idea 持ち物確認をゲーム感覚で楽しみながら、親子の絆を深める教育支援アプリ

山口 裕也さん（株式会社 De-Tied UP）

弊社は小中学生向けの習い事教室を運営する中で、児童や保護者が抱える課題に対して、「より幅広いサポートを提供したい」と考えるようになりました。その一つが、忘れ物の防止サポートです。児童の安心感を高めるだけでなく、忙しい保護者の負担を軽減し、習い事教室の枠を超えた支援を目指しています。親子のコミュニケーションを深め、持ち物管理を遊び感覚で楽しみながら生活習慣を育むアプリを開発。ゲーム性と教育性を融合させ、楽しく継続できる仕組みを提供します。単なるアプリに留まらず、地域や教育全体を巻き込んだサービスの提供を目指しています。



Idea 塩谷でつながる。空き家再生「くらしおや」プロジェクト

小松原 啓加さん

地域おこし協力隊として私が活動している塩谷町の人口は、約9,000人。県内の市町で最も少なく、積極的に人を呼び込まなくてはならない状況にあります。しかし、関係人口や移住希望者の「住みたい」ニーズがある一方で、住める家が圧倒的に足りていないことが分かりました。そこでこのプロジェクトでは、「塩谷町で暮らしたい」と思っていたただけた方に、少しでも住まいの選択肢を提供し、地域や人とながれる暮らしのお手伝いできたらと考えています。



Idea 山と生き物と文化と

鈴木 由清さん

プロジェクトの目標は、生き物のための山づくりです。この目標を達成するために、3つの大きな軸があります。それは、山をフィールドにした環境調査、山づくり、そして森林資源の利活用です。現状では、環境調査は開発を前提とした調査と提言に留まっています。また、山づくりについては、植林する人手が不足しているために十分に進んでいません。さらに、森林資源については、生け花やクラフトなどで使う材料がどの山から来ているかが不透明です。鳥類の自然環境調査員や林業をしてきた私自身の経験を活かして、山というフィールドで行う様々な活動をつなげ、山の循環的な利用を進めたいと考えています。



Idea 益子町の暮らし方から「やりたいこと」を見つける。旅人とローカルの交流拠点『ゲストハウス小窓』

増田 リサさん

いきなりですが、「やりたいことがない」「自分に合った仕事が見つからない」と悩んだ経験はありませんか？私は、就職活動中や実際に就職してからでも、ずっとこのモヤモヤを抱え続けてきました。しかし、益子町を訪れ、自分の好きなことを生業にしている人と沢山出会い、「正社員」や「安定した仕事」に縛られなくても人生を豊かに生きられることを学びました。益子町の魅力は焼き物だけでなく、そこで暮らしている人達が多種多様な働き方をしているところだと思います。そんな街で、旅人とローカルが混ざり合い、色々な価値観や働き方に触れることのできるゲストハウスをつくりたいと考えています！



Idea 10歳から始める、人生の経営者になるための夢活プロジェクト

小林 正幸さん（いどうりアカデミー）

私がこれからチャレンジしたいのは、子どもたちが夢を持てる教室づくりです。生き方や働き方が多様化した現代において、「社会に出てからどう生きるか？」を考えることが、子どもたちにとってもますます重要なテーマになりました。そこで、子どもが未来へのヒントを得るきっかけを作るために、10歳から自身のキャリアについて考える「夢活プロジェクト」を始めます。

2024年度事業一覧

①社会事業を行う若者の人材育成事業

企業一日体験プログラム「work trip」【自主事業】

次世代スタートアップ経営者育成事業【委託元：宇都宮市経済部産業政策課】

たかはらインターンシップ【委託元：特定非営利活動法人とちぎボランティアネットワーク】

IDEA→NEXT【自主事業】

とちぎ若者未来創造会議運営事務局

ユースワークキャンプ【自主事業】

宇大未来塾「志士プログラム」（8期・前期）【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

宇大未来塾「志士プログラム」（8期・後期）【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

宇大未来塾「次世代経営マネジメントプログラム」【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

宇大未来塾「データサイエンス DX プログラム」【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

宇都宮海星女子学院放課後学習支援業務【委託元：学校法人宇都宮海星学園】

栃木県地域づくり担い手育成事業【委託元：栃木県総合政策部地域振興課】

シモツケ大学・公共空間利活用社会実験（石橋エリア）企画運営業務【委託元：下野市総合政策部総合政策課】

宇都宮市創造都市研究講座（まちなか大学）【委託元：宇都宮市創造都市研究センター】

②ソーシャルプロジェクト支援事業

ユースハウス【自主事業】

「共創のまちづくり」の推進に向けた「交流・対話」創出支援業務（共創イベントの運営）

【委託元：宇都宮市総合政策部政策審議室地域振興・共創推進室】

とちぎデジタルハブコーディネート業務【委託元：栃木県総合政策部デジタル戦略課】

宇都宮市移住定住相談窓口 miya come 支援業務

【委託元：特定非営利活動法人 100 万人のふるさと回帰・循環運動推進・支援センター】

農村ファンと地域をつなぐ未来創出事業【委託元：栃木県農政部農村振興課】

滞在型グリーン・ツーリズム推進事業【委託元：栃木県農政部農村振興課】

③ネットワーク / コミュニティ形成

若者コミュニティ「よりも」【自主事業】

Open Session Friday 実施協力

コワーキングスペース áret 運営サポート【委託元：浄土宗光琳寺】

④行政、企業、NPO、組織形態を越えた総合的若者サポートネットワークの構築事業

「若者未来チャレンジ応援事業」業務【委託元：栃木県生活文化スポーツ部県民協働推進課】

「共創のまちづくり」の推進に向けた「交流・対話」創出支援業務（うつのみや未来創造プロジェクト（みやプロ）の運営）

【委託元：宇都宮市総合政策部政策審議室地域振興・共創推進室】

宇都宮大学アイデアピッチ&交流会事業【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

日本大学松野ゼミ研究サポート

⑤社会事業に関する相談 / アドバイス事業

「宇都宮市起業家支援施設」メンタリング業務【委託元：株式会社エンターテイン】

⑥調査研究事業

宇都宮市西地区支え合い事業【パートナー：西地区ひまわり協議体】

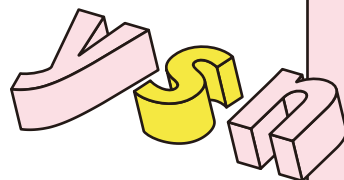
⑦情報発信事業

あしかもメディア【自主事業】

那須地域開拓塾 × 宇大 NF プログラムレポート作成【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

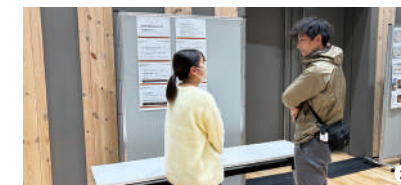
鹿沼市 × 宇大 NF プログラムレポート作成【委託元：国立大学法人宇都宮大学】

宇都宮空き家会議通信制作【委託元：宇都宮市空き家会議】



Pick Up

宇都宮大学アイデアピッチ & 交流会



《大学発》「やってみたい」を形にする“きっかけ”を提供！

本事業は、宇都宮大学の学生から職員まで、「やってみたい」を形にする機会を提供することを目的としています。12月16日には、参加者8名によるプレゼンテーションが行われ、自身のアイデアを実現する一歩を踏み出しました。プレゼンテーションで“やりたいこと”を伝える中で、多様な意見や応援、人とのつながりや経験を得て、さらに挑戦への意欲を育むことができました。本事業では、プログラムの企画、参加者のアイデアブラッシュアップなどを担当しましたが、これまで若者の“やりたいこと”を支え続けた実績が本事業の委託につながりました。これからも若者たちの「やってみたい」を支え続けていきます。（※宇都宮大学 委託事業）

①②③ アイデアピッチ & 交流会の様子



宇都宮大学 宇野 俊佑（うの しゅんすけ）さん

私は今まで、人前に出てプレゼンをする事に強い苦手意識を持っていました。しかし、勇気を持ってこのイベントに参加した事をきっかけに、苦手意識が無くなり、大学の講義でも堂々とプレゼンできるようになりました。大学内に植物園を作りたい！というアイデアを発表してから、現状の課題ややるべき事を再確認でき、絶対に完成させるぞという強い意思が芽生えました。もしピッチに登壇しなければ、ここまで覚悟が固まらなかったと思います。発表後は、植物園予定地の笹を全て刈り取り、メンバー皆で天井を張り終え、古い床を剥がし、皆が座れるガーデンテーブルセットを、木材で1から作り上げました。誰もが安らげる花に囲まれた空間をつくるため、これからもまだまだ頑張ります！

Pick Up

宇都宮市移住定住相談窓口 miya come 支援業務

miya come GO !



地方移住希望者が宇都宮のキーマンと出会うショートトリップ

本事業は、宇都宮市への移住を検討している首都圏在住者を対象に、移住後の暮らしへの安心感や期待感を育むことを目的としています。宇都宮市で魅力的な取り組みを行うゲストや行政関係者、移住・定住相談窓口『miya come』の職員と交流できる機会の提供に加え、現地での体験イベントも開催しました。「農業編」「子育て編」「移住者交流会」など、テーマ別に全5回のイベントを実施。事業開始から2年間で、4組の参加者が実際に宇都宮市へ移住し、それぞれのスタイルで宇都宮での暮らしを楽しんでいます。今後も『miya come』を中心としたつながりの場を育みながら、移住者が安心して生活できるコミュニティづくりを支援していきます。

①②③ 現地での体験イベントの様子



お子さま連れで参加されたご家族のみなさん

家族で『miya come GO !』に参加し、その後、移住することになりました。現地の方と交流を持つことができ、「これからの宇都宮での生活が楽しくなりそう！」とワクワクしながら日々を過ごしています。とても楽しかったです！



旅に出よう！
見つける
やりたいことを

とちぎ
ユースで

地域に出て “やりたいこと探し”をするために

大学生になり１年が経ち、“意外と自分の時間がある”ということに気づきました。そこで、大学２年生の時にゼミの担当教員に「地域で活動したい」と想いを伝えたところ、岩井さん（とちぎユースの代表理事）をご紹介いただきました。そして、大学２年生の５月にとちぎユースの事務所に初めて訪問し、スタッフの方と面談させていただきました。面談の中で、“多様な人との出会いがある”“幅広く事業を行っているため様々な分野に触れられる”点に魅力を感じました。当時はやりたいことが定まっていなかったのですが、「様々な分野に触れてやりたいこと探しをしたい」という想いも相まって、幅広い事業に関わりながら長期間活動する“見習いインターンシップ”を始めました。



多岐にわたる業務に携わる “見習いインターンシップ”

インターンシップでは、公務員のぶっちゃけ話を聞くイベント、大学生とのまち歩きイベント、打ち合わせや会議への出席、企画書の作成、ホームページの更新、学生同士のつながりをつくる焚き火イベント、活動したい若者と地域団体をつなげる地域づくりフェアなど、様々な業務に携わらせていただきました。２年半ほどインターン生として活動したことで、関わり始めからの成長の過程が実感できたり、様々な機会に顔を出せたりと、“いいとこどり”ができました。それは長期インターンシップならではのメリットでもあり、やりたいこと探し中だった自分にとってすごく良い経験になりました。



＝インターン生の声＝

有田 和貴（ありた かずき）

宮城県登米市出身。栃木県下野市で育つ。帝京大学経済学部 地域経済学科を２０２５年３月に卒業。地域経済について学ぶ中で地域で活動してみたいと思った時、大学２年時に教員の紹介でとちぎユースと知り合う。大学２年時６月よりインターン生として活動を開始。趣味はドライブと写真。現在はインターン中に出会った海外人材に特化した人材コンサルティング会社に勤務中（２０２５年４月より）。今後も、会社員の傍ら地域活動を続けていく予定！

イベントで目の当たりにした 相互コミュニケーションの重要性と参加者の変化

一番印象に残っていることは、関わった中で最も規模の大きなイベントでもある『とちぎ地域づくりフェア』の企画・運営です。スタッフとインターン生と大学生と話していた時に出た「こんなことやりたいね」が芽になったイベントです。イベントを周知するための広報活動、当日の企画設計、出展団体に送付するメール文章の作成、当日の記録や運営サポートなど、その時々で必要な役割を担いました。イベントを経て、大掛かりなイベントを開催することはとても大変なことだと身染みて感じました。企画から開催まで約３か月ほどでしたが、その間に１１回ほどミーティングを行いました。大変でしたが、でも「やればできるんだ」と思って。限りある時間の中でどれだけ集中してコミットできるかが大切だと学びました。

身についたスキルは、 コミュニケーション力と物事の意図や背景を汲み取る力

インターンを通して身に付いた力は、コミュニケーション力です。元々よく喋る方ではありましたが、初対面の人とのコミュニケーションは苦手な方でした。分かりやすく言えば、初めは静かだけど仲良くなるとうさじタイプで（笑）でも今は、だいた初対面の人とでも話せるようになりましたね。また、物事を表面的に捉えずに、その意図や背景を汲み取る力も徐々に付いてきたと思っています。スタッフと事務所で話している時に、「その内容の意図は？」などと深いところまで質問される機会が多くて。それらの会話を通して、自分の発言の意図をしっかりと話す力が身に付いたと感じています。振り返ると、作業を手伝いながら話したり、仕事終わりに話したりと、事務所に居る時の何気ないコミュニケーションが自分の成長につながったと感じています。

一番嬉しかったことは、参加者の変化ですね。「団体と関わり始めた」「インターンシップを始めた」「何事もやってみることが大切だと思った」「色々なことにチャレンジしていきたい」「自分と向き合う時間になった」という声を聞いたときは、心から「開催して良かった」と思いました。特に、色々な地域団体が各ブースで参加者と話すブースセッションの反応がとても良くて。相互コミュニケーションの重要性を目の当たりにしたので、人と人を直接つなげてコミュニケーションが取れるような機会をもっとつくりたいと思いました。『とちぎ地域づくりフェア』は今後も開催予定なので、みんなで協力しつつ、できる限り関わり続けていきたいです。

スタッフやインターン生との会話が新しい発見につながったり、自分の考えを整理するきっかけになったり。事務所に居る時間が、自分にとってすごく良い時間でした。



将来は、地域に“誰でも来られる居場所”をつくりたい

２０２５年４月から社会人として働いています。インターン期間を含めると半年以上働いていますが、未だに慣れないので、まずは本業の仕事に慣れていきたいです。フレックスタイム制なので、隙間時間を使ってこれからはとちぎユースや地域に関わり続けていきます。とちぎユースの紹介から関わり始めた『一般社団法人えんがお』での活動の影響もあり、今は「地域の居場所づくり」に興味があります。核家族化が進んでいる今、地域とのつながりも希薄になりつつあるので、地域のハブとなる情報を届けられる居場所ができれば…と考えています。ターゲットはあえて絞らず、老若男女や障がいの有無を問わず“誰でも来れる居場所”が理想です。

ターゲットを幅広くしたい理由としては、ターゲットを絞ってしまうと“サービスの提供者と受益者”という関係性になる恐れがあり、難しさを感じたからです。濱野さん（えんがおの代表理事）が「来てくれる人をお客さんにしない」とよく言っていて、それが最近すごくしっくりきて。“サービスの提供者と受益者”という関係性をつくるのではなく、子どもの相手をおばあちゃんがしたり、おばあちゃんが困っていたら中高生がお手伝いしたりと、対等な関係性をつくりたい。そんな“みんなで助け合える居場所・地域・社会”をつくるのが、今後の目標であり想いです。

“地域で活動しながら興味・関心分野を模索したい人”におすすめ！

とちぎユースのインターンシップは、“とりあえず何が行動してみたい人”におすすめです！具体的なやりたいことが定まっていなくても、「今の自分を変えたいから行動したい」など、ふわっとしていても良いと思います。自分もかなり助けられましたが、曖昧なものを言語化・具現化させることはスタッフの得意分野なので…！逆にやりたいことが明確に定まっても、とちぎユースのインターンシップは新鮮で面白いですし、つながりのある地域団体とつながってくださることもあります。少しでも地域での活動に興味があったら、話を聞きに行くと良いかなと思います！

とちぎユースのインターンシップは、“やりたいことが定まっていない人”“自分の可能性や視野を広げたい人”“地域で活動したいけど行動できていない人”に特におすすめです。色々な人や団体と出会い、知らないことに触れることで、見えてくるものがきっとあるはずです。

とちぎユースへのご相談大歓迎！

「学校の外で何かにチャレンジしてみたい」
「地域活動に興味がある」など、どんなご相談もお待ちしています！

応援者の声

もう一度、栃木に帰りたくなる場所

会社員 / 加藤 柚穂（かとう ゆずほ）さん



2023年、若者コミュニティ「よりも」の立ち上げに関わったことをきっかけに、とちぎユースさんと深く関わるようになりました。そこで出会ったみなさんは、「栃木県をより良くしたい」という強い想いを持ち、前向きに活動されています。その姿に励まされ、私自身も「もっと頑張ろう」と背中を押される想いでした。悩んだ時には寄り添ってくださり、辛い時には真っ先に顔が浮かぶ、大切な存在です。一時は人間関係に疲れ、栃木県が嫌になったこともありましたが、今では「県外で成長し、いつか栃木県で活躍したい」と思える、大好きな場所になりました。これからも、さらなるご活躍をお祈りしています。

若者と地域をつなげる貴重な存在

株式会社ユニーワールド 取締役社長 / 小川 拓矢（おがわ たくや）さん



若者の夢や思いの実現をサポートしたり、地域の困りごとを解決したりと、幅広くご活躍されているとちぎユースさん。今回、「若者たちの夢を実現するために手伝ってほしい」とお声がけいただき、一緒に支援し形にできたのが、『ご飯にかけられるしもつかね』でした。私自身、形にする過程で若者と接しながら、「地域の未来を創る重要性」を学びました。産学官との連携もより深まり、さらに地元企業を巻き込みながら栃木県を元気にしていく原動力になり、今後のご活躍が一層楽しみます。これからも応援しています！

可能性の開花を後押しする存在

株式会社ブリジック代表取締役 / 木村 由貴子（きむら ゆきこ）さん



創業当初から関わりをいただき、10年もの月日が経過しました。「いつかこうした組織をサポートできる存在になりたい」と会社を運営してきましたので、微力ながらも応援することができ、非常に嬉しく思っています。プライベートでは、スタッフの方と講演会イベントを運営し、中学生の次男も運営に参加させていただき、素晴らしい刺激をいただきました。また、能登半島地震の後は、現地向向いて支援する姿に感動し、「私も何かできることで力になりたい」と思いました。今後の活動にも期待しています！

Ready XX の全力サポーター

プロボラボ 代表 / 川澄 哲久（かわすみ あきひさ）さん



「NPO の領域でも活躍できる人材になろう」と決意したとき、最初に相談に乗ってくださったのが古河さんでした。そしてとちぎユースさんの存在を知り、想いに強く共感し、様々なイベントに顔を出させていただくようになりました。私が活動に参加し続けているのは、きっと、支援を受けながら頑張る若者たちの姿に触れ、「自分も負けていけない」と鼓舞されているからなのだと思います。「何かを始めたい気持ちはあるけど、どう動き出せばいいのかからない」。そんな若者に寄り添い、背中を押し、ともに歩もうとするとちぎユースさんの姿勢（取り組み）は、本当に意義あるものだと感じています。とちぎユースさんが築いてきた『応援のエコシステム』をともに育てる共犯者が、これからもっと増えていくことを願っています。

多くの企業様・個人の方から ご支援いただいています



株式会社セレクトィ 株式会社栃木銀行 企業組合とちぎ労働福祉事業団 株式会社ブリジック 株式会社ル・リオン

合同会社新しい箱 / 株式会社 innovista / 株式会社 akf / 一般社団法人えんがお / このは教室 / 浄土宗光琳寺 / 株式会社ジード / つばめソリューション株式会社 / 一般社団法人 nasu lab. / 菜の花どうぶつ病院 / 特定非営利活動法人はばたき / ファームサイド株式会社 / 株式会社 PLAYWORK / マロニエ会計事務所 / 株式会社ワークエントリー栃木事業部
※並びは 50 音順

賛助団体・企業 **20** 団体 / 運営会員 **47** 名 / 賛助会員 **26** 名

個人寄付者数 **34** 名

多くの方からのご支援により、2025年3月26日（水）付で、栃木県より認定 NPO 法人としての認定を受けました。今後とも地域をより面白く、ハッピーにし続けていく活動に力を入れていきます。

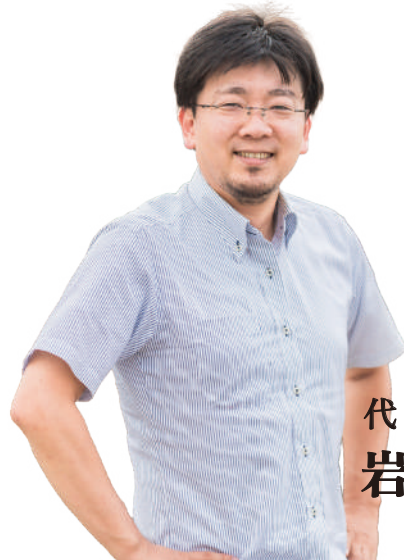
※認定 NPO 法人とは、NPO 法人の中でもその運営組織や事業活動が適正で、公益の増進に資する活動を行っているとして所轄庁が認定した法人のことです
※認定 NPO 法人への寄付は税控除の対象になり、確定申告で寄付額の約 40% が所得税と住民税から控除されます（控除額はお住まいの自治体により決定されます）

「冒険心」を、今一度

2024年度、私たちは設立15年目を迎えました。今年も、前へ進もうとする多くの若者たち、そして彼らを応援してくださる先輩方と関わり合いながら、「挑戦を育む生態系と文化」の創出に取り組むことができました。そして、これまで当会を支えてくださった、多くの方々のご支援の積み重ねにより、私たちは認定 NPO 法人として認定されました。心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

認定 NPO 法人とは、支援者の数や内部管理体制、ガバナンスなどにおいて、一定の基準を満たし、所轄庁から認定を受けた NPO 法人を指します。全国に 49、492 ある NPO 法人のうち、認定を受けているのはわずか 1296 法人（2・6%）（2025年3月31日現在）と狭き門です。今後は、社会的使命と責任をより一層意識し、より多くの方々の期待と応援に応えながら、歩みを進めてまいります。

さて今年度は、異なる分野や文化的背景を持つ主体が交わり、新しい物事が生まれる場面を数多く目にしました。こうした「重なり」の背景には、個人や組織が新たな挑戦をした結果として、視野や興味、可能性が広がり、他者との共通点が増え、他者と重ねることのできる領域が増えるというメカニズムがあるのだと感じています。



代表理事
岩井 俊宗

STAFF



いわい としむね
代表理事 岩井 俊宗

宇都宮市出身。2005年宇都宮大学国際学部卒業後、ボランティアコーディネーターとして市民活動支援機関に入職。NPO・ボランティア支援、個別 SOS に従事。2008より若者の成長機会創出と社会課題の解決に向けて持続的に取り組む人材を輩出し、若者による社会づくりの加速を目的に当会を設立し2010年NPO法人化。代表理事を務める。2児のパパ。



ふるかわ だいすけ
理事 古河 大輔

小山市出身。仙台、名古屋、南米ボリビアと各地を転々とした後、地元へ。立ち上げ期から参画し、地域の課題解決と挑戦する若者たちの生態系づくりに取り組む日々。複数のチームで、仲間たちと地域に必要なことや地域を楽しむことをあれこれと企てる。趣味は旅。知らない世界をもっと知りたい！一般社団法人カゼトツチ代表理事、他。



わたなべ たかや
理事・事務局長 渡邊 貴也

宇都宮生まれの那須烏山人。市民の社会参画・政治参画意識向上や市民プロジェクト支援が関心分野。那須烏山市でも複数の市民プロジェクトに参画している。2018年にとちぎユースを退職したが、2022年にまさかのリターン再就職を果たす。趣味はレザージャケット収集とウイスキー。



なかやま ひろき
事務局 中山 裕貴

さくら市出身。埼玉県の大学で行動経済学を専攻し、学外でもイベント企画運営や学生団体運営をする。大学4年生の時にとちぎユースと出会い、「この人たちと働きたい」と思い、半年間のインターンシップを経て、スタッフとして入職。趣味で農業プロジェクトにも参画しており、土を触ることで癒しを得ている。好きな食べ物は砂肝とせせりりと白身魚。



うえだ まい
事務局 上田 真依

真岡市出身。大学でメディア社会学について学ぶ傍ら、離島ボランティアや古民家・廃校再生インターンシップでの活動を通して、「地元貢献したい」という想いが募り大学4年時にリターン。「若い人の一歩を後押しできるメディアを創りたい」という想いのもと、2021年にスタッフとして合流。現在は『あしかもメディア』のライター、デザイン担当として活動中。



しのはら ゆうた
事務局 篠原 悠太

宮崎県都城生まれ宮崎市育ち。大学時代にイベント運営などでとちぎユースと関わり始め、インターンシップを経て、「若者のチャレンジと挑戦を育む」ためにスタッフとして入職。現在は若者人材育成事業を中心に業務を行う。好きなことは漫画を読むことと博物館に行くこと。好きな食べ物は蕎麦。最近の目標は体調を崩さないこと。

※事務局の並びは 50 音順

若者への活動提供

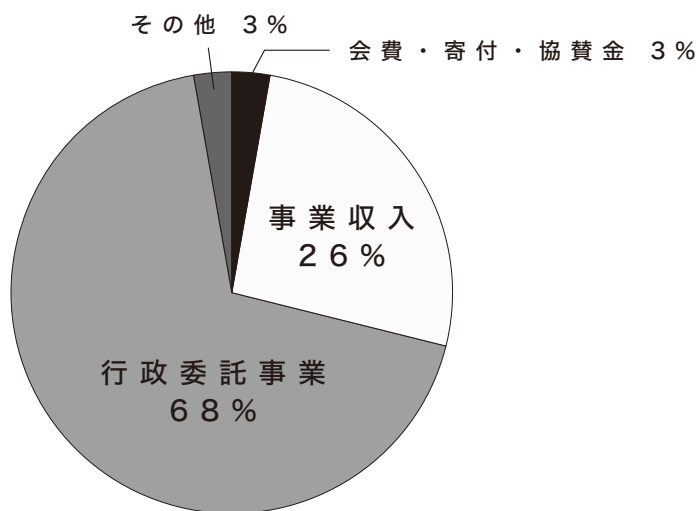
延べ人数 **4,707 人** の若者に、**9,880 時間** を提供しました

* 相談対応、プログラム提供、イベント参加などの合計時間

会計報告

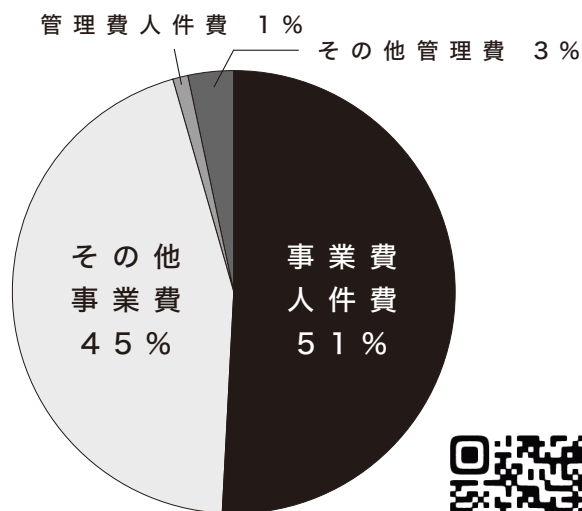
経常収益

48,006,115 円



経常費用

45,203,440 円



詳しくは右の二次元コードよりご覧ください



**若者の挑戦と成長を後押し、
より良い地域をつくっていくために
私たちのチャレンジを応援してください！**

皆様から受け取ったご寄付は、未来をつくる若者たちを育ていくために、若者が地域の課題解決現場に足を運ぶワークキャンプや、若者コミュニティ事業、『IDEA↓NEXT』などに活用させていただきます。



**ご寄付の
おねがい**

当会へのご寄付・ご協賛・ご入会は、プラットフォーム『Syncable (シンカブル)』にて受け付けております。お手続きは右の二次元コードからよろしくお願いいたします。

<https://syncable.biz/associate/tysn>

